

リハビリテーション学科 作業療法学専攻(専門教育科目) カリキュラムチェックリスト

区分	授業科目	単位数	標準開設年次				免許・資格 必修 必修 必修 必修	備考	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9
			1	2	3	4			【知能・技能】			【思考力・判断力・表現力】			【主体性・多様性・協同性】		
			前期	前期	前期	前期			人々の健康の維持・増進、疾病予防、健康障害からの回復に向け、専門知識と技術に裏付けられたリハビリテーションを科学的根拠に基づき実施できる。	常に知識・技術・態度を向上させようとする姿勢を身に付けている。	作業療法学・理学療法学を意図的に問い掛ける姿勢を有し、研究に関する基礎的能力を身に付け、推進できる。	人格や個性、価値観を尊重し、柔軟な思考で問題の本質を捉え、論理的に課題を解決できる。	生の誕生から老い(死)までの多様なライフステージに応じた生活や行動を作業療法士としての役割を倫理的に判断し、探求心をもって自ら行動を起こすことができる。	健康・医療・福祉に興味や関心を持ち、人に関わる現象を探究するために自ら行動を起こすことができる。	社会及び地域のニーズを把握する知識と技術を有し、柔軟な協同性を身に付け、リハビリテーションを実践できる。	地域における多様な考えやチームの中での自身の役割を理解し、多職種間連携がとれ、協働できる。	
人体の構造と機能及び心身の発達	人体の構造Ⅰ	2	必	○				◎	○	○							
	人体の構造Ⅱ	2	必	○				◎	○	○							
	人体の構造演習	[1]	必	○				◎	○	○							
	生理学Ⅰ	2	必	○				◎	○	○		○					
	生理学Ⅱ	2	必	○				◎	○	○		○					
	生理学演習	[1]	必	○				◎	○	○		○					
	運動学	2	必	○				◎	○	○		○					
	運動学演習	[1]	必	○				◎	○	○		○					
	人間発達学	1	選	◎				◎	○	○		○		○			
	公衆衛生学	1	必	◎				○				○		◎	○		
	病理学	1	必	◎				○		◎		○		○			
	薬理学	1	必	◎				○	○	◎				○			
	救急救命学	1	必		◎				○			○		○	◎	○	
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	神経内科学	2	必	○				○	○	○		◎	○	○		
整形外科学		2	必	○				◎	○	○		○		○			
小児科学		2	必	○				○	○	○		◎	○			○	
精神医学		2	必	○				○	○	◎	○	○		○	○		
臨床心理学		2	必	○				○	○	◎	○	○		○			
加齢と生活障害		2	必	○				○	○	○		◎	○	○		○	
摂食・嚥下機能学		2	必	○				○	○	○		◎	○	○		○	
画像診断学		1	必	◎				○		◎		○		○			
栄養学		1	必	◎				○		○		◎	○	○		○	
リハビリテーション栄養学		1	選	◎						○		◎	○	○	○		
予防リハビリテーション学		1	必	◎				◎		○		○	○	○	○	○	
社会福祉学概論		1	選	◎							○	○	○	○	◎	○	
チーム医療と多職種連携論		1	必	◎						○		○	○	○	○	◎	
関係法規		1	必	◎					○			○	◎	○			
リハビリテーションの理論	リハビリテーション概論	1	必	◎				◎	○	○	○	○	○	○	○	○	
	リハビリテーション医学	2	必	○				◎	○	○	○	○	○	○	○	○	
基礎作業療法学	作業科学	[1]	必	○				○	○	◎	○	○	○				
	作業科学実習	[1]	必	○				○	○	◎	○	○	○				
	作業療法学概論	1	必	◎				◎	○	○	○	○	○	○	○	○	
	研究法	[1]	必	○				○	○	◎	○		○				
	卒業研究	[4]	必				◎		○	○	○		◎				
作業療法管理理学	作業療法管理理学	2	必	○					○	○		○	○	○	◎	○	
	地域保健マネジメント学	1	必	◎				○			○	○	○	○	○	◎	
	リスク管理学	1	選	◎				◎	○	○	○		○				

リハビリテーション学科 作業療法学専攻(専門教育科目) カリキュラムチェックリスト

区分	授業科目	単位数	必修	標準開設年次				免許・資格 必修 選別	備考	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9
				1	2	3	4			【知識・技能】			【思考力・判断力・表現力】			【主体性・多様性・協同性】		
				前期	前期	前期	後期			人々の健康の維持・増進、疾病予防、健康障害からの回復に向け、専門知識と技術に裏付けられたリハビリテーションを科学的根拠に基づき実施できる。	常に知識・技術・態度を向上せよと研鑽する姿勢を身につけている。	作業療法学・理学療法学を意図的に使い分け、研究に関する基礎的能力を身につけ、推進できる。	人格や個性、価値観を尊重し、柔軟な思考で問題の本質を捉え、論理的に課題を解決できる。	生の誕生から老い(死)までの多様なライフステージに応じた生活や行動を主体力学的及び心理生理学的側面から多角的に捉えて説明できる。	作業療法・理学療法の実践において知能なる場合でも、作業療法士・理学療法士としての役割を倫理的に判断し、深慮心をもって取り組むことができる。	保健・医療・福祉に興味や関心を持ち、人に与える現象を探究するために自ら行動を起こすことができる。	社会及び地域のニーズを把握する柔軟な協同性を身につけ、リハビリテーションを実施できる。	地域における多様な考えやチームの中での自身の役割を理解し、多職種間連携がとれ、協働できる。
作業療法評価学	作業評価学総論	1	必	●					◎	○	○	○	○	○				
	身体機能評価学	1	必	●					○	◎	○	○	○	○				
	身体機能評価学演習	[1]	必	○					○	◎	○	○	○	○	○	○		
	精神機能評価学	1	必	●					○	◎	○	○	○	○				
	精神機能評価学演習	[1]	必	○					○	◎	○	○	○	○				
	発達機能評価学	[1]	必	○					○	◎	○	○	○	○				
	認知機能評価学	1	必	●					○	◎	○	○	○	○				
作業療法治療学	生活と作業療法学	2	必	○					○		○	○	◎	○		○		
	生活と作業療法学演習	[1]	必	○					○		○	○	◎	○	○	○		
	身体機能作業療法学	2	必	○					○	○	◎	○	○	○				
	身体機能作業療法学各論	1	必	●					○		◎	○	○	○				
	身体機能作業療法学演習	[1]	必	○					○		○	○	◎	○	○	○		
	精神機能作業療法学	2	必	○					○	○	○	○	○	◎				
	精神機能作業療法学各論	1	必	●					○		○	○	○	◎				
	精神機能作業療法学演習	[1]	必	○					○		○	○	○	◎	○	○	○	
	老年期作業療法学	2	必	○					○	○	○	○	○	◎				
	老年期作業療法学演習	[1]	必	○					○	○	○	○	○	◎	○	○	○	
	発達と作業療法学	2	必	○					○	○	○	○	○	◎				
	発達と作業療法学演習	[1]	必	○					○		○	○	○	◎	○	○	○	
	認知機能と作業療法	[1]	必	○					○		○	○		◎	○	○		
	義肢装具学	[1]	必	○					◎		○				○			
	ハン德里ハビリテーション	1	選	●					◎		○	○	○	○				
	リハビリテーション工学	1	選	●					◎		○	○	○	○	○	○		
高次脳機能治療学	1	選	●					◎		○	○	○	○		○			
作業療法セミナー	[2]	必	○									○	◎	○				
地域作業療法学	特別支援教育と作業療法	1	必	●								○	○	○	○	◎	○	
	地域作業療法学	2	必	○									○	○	○	○	◎	
	地域作業療法学演習	[1]	必	○									○	○	○	○	◎	
	就労支援と作業療法	[1]	必	○								○	○	○	○	○	◎	
臨床実習	地域見学実習	(1)	必	○					○	○	○	○	○	○	◎	○	○	
	コミュニケーション実習	(1)	必	○					○	○	○	○	○	○	◎	○	○	
	評価学実習	(4)	必	○					○	○	○	○	○	○	◎	○	○	
	臨床実習 I	(8)	必	○					○	○	○	○	○	◎	○	○	○	
	臨床実習 II	(8)	必	○					○	○	○	○	○	◎	○	○	○	